



# バスパワー対応 USB2.0 MOユニット オンラインガイド

---

このたびは弊社製バスパワー対応USB 2.0 MOユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。  
このオンラインガイドでは、MOドライブの取り扱い方法全般についてガイドしています。  
下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

ごあいさつ

製品の特徴

使用上のご注意

使用環境について

使用可能なメディアについて

設置方向について

メディアのセットと取り出し

フォーマット（初期化）について

MOユニットの取り外し方法

Q&A よくある質問

保証と修理について

## ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本オンラインガイドは製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、別紙のセットアップガイド等共にご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

## 製品の特徴

ここでは製品の特徴についてご説明いたします。  
ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

LMO-PBSU2シリーズをご使用の場合

LMO-PBAU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBSU2 シリーズの特徴

LMO-PBSU2シリーズは、USB 2.0 High-Speedに対応した、シェルトップローディングタイプの外付型MOユニットです。USBバスパワー対応ですので、外部電源を必要としません。Windows と Macintosh に対応したマルチプラットフォームのMOユニットですので、使用環境を選びません。シェルトップローディング機構の採用により、非常に小型で、持ち運びに便利なモバイルサイズを実現しています。USBケーブル一本による簡単接続で使用できますので、手軽に持ち運べる利便性を生かして様々な環境でMOメディアを活用できます。

### 製品の特長：

- ・ MOメディアの出し入れを、トップカバーを開けて行う「シェルトップローディング機構」を採用しています。小型で、MOメディアの出し入れを楽に行うことができます。MOメディアを入れたままでも、トップカバーが密閉された状態になりますので、埃やゴミの進入を防ぐことができます。
- ・ 「103.3 (幅) × 19.8 (厚さ) × 117.5 (奥行き) mm」「230g (質量)」と、非常に小型で軽量なモバイルサイズを実現しています。横置き、縦置きの両方に対応していますので、設置する場合にも、場所を取らず設置場所を選びません。
- ・ 「USBバスパワー対応」ですので、パソコンのUSBポートから供給される電源で動作可能です。ACアダプタ等の外部電源は不要ですので、USBケーブル一本でパソコンと接続できます。コンセントの空きなどを心配する必要がありません。
- ・ 高速で簡単接続を実現する、「USB 2.0 High-Speed」に対応しています。ケーブルを差し込むだけの簡単接続で使用できますので、導入が容易です。ホットプラグが可能ですので、複数のパソコンのデータのバックアップやパソコン間でのデータ交換を容易に行うことができます。従来のUSB 1.1対応のUSBポートに接続することも可能です。
- ・ システム手帳風の「キャリングケース」を標準で付属しています。鞆の中等に入れて持ち運ぶ際にも傷が付きにくく、安心して持ち運ぶことができます。
- ・ トップカバーとボトムカバーは、軽量化、放熱性能に優れる「アルミ」を採用しています。アルミ表面に「アルマイト処理」を施していますので、汚れや傷もつきにくく、取扱いが容易です。また、「冷却ファン不要の静音設計」により騒音の発生がありません。
- ・ USBケーブルは、据置型のモデルに比べて30cmほど短い「約70cmの長さ」のケーブルを採用しています。持ち運ぶ際にかさばりません。

## LMO-PBAU2 シリーズの特徴

本製品は USB 2.0 の High-Speed に対応したポータブルタイプの外付け型 MO ユニットです。USB バスパワーによる電源供給が可能ですので、USB ケーブルでパソコンとつなぐだけで使用可能となります。

### 本製品の特徴

- ・ 「USB バスパワー対応」ですので、パソコンの USB ポートから供給される電源で動作可能です。AC アダプタ等の外部電源は不要ですので、USB ケーブル一本でパソコンと接続できます。コンセントの空きなどを心配する必要がありません。
- ・ 高速で簡単接続を実現する、「USB 2.0 High-Speed」に対応しています。ケーブルを差し込むだけの簡単接続で使用できますので、導入が容易です。ホットプラグが可能ですので、複数のパソコンのデータのバックアップやパソコン間でのデータ交換を容易に行うことができます。従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能です。
- ・ コンパクトなボディは携帯性に優れ持ち運びに最適です。
- ・ 放熱性と堅牢性を兼ね備えたアルミボディを採用しています。アルミ表面に「アルマイト処理」を施していますので、汚れや傷もつきにくく、取扱いが容易です。また、「冷却ファン不要の静音設計」により騒音の発生がありません。
- ・ USB ケーブルは、据置型のモデルに比べて 30cm ほど短い「約 70cm の長さ」のケーブルを採用しています。持ち運ぶ際にかさばりません。

## 使用上のご注意

ここでは製品の取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。  
注意事項は、お求めいただいたMOユニットにより異なります。ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

LMO-PBSU2シリーズをご使用の場合

LMO-PBAU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBSU2 シリーズをご使用の際の注意

- ・ 基本的にパソコン本体のUSBポートへ直接接続してください。バスパワーのUSBハブでは動作しません。ただし、パソコン本体のUSBポートのバスパワー供給性能によっては別途セルフパワーのUSBハブが必要になる場合があります。
- ・ USBケーブルは必ず付属の物をご使用ください。それ以外のUSBケーブルでは動作の保証はいたしかねます。
- ・ スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードについては、未サポートとなっています。

### アクセスランプの仕様について

LMO-PBSU2シリーズのアクセスランプは、メディアの読み込み時点滅（早く）します。

また、以下の状態の時にはゆっくりとした点滅となります。

- ・ イジェクトレバーをUNLOCK側にスライドした時
- ・ OS側でのメディアの取り出し操作後

これらの状態の時にはセットされたメディアへの書き込み・読み出しは行えません。

メディアへの書き込み・読み出しは、メディアをセット後にアクセスランプが点灯したのを確認してから行ってください。

## LMO-PBAU2 シリーズをご使用の際の注意

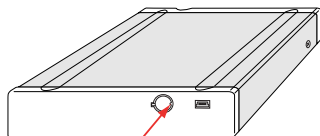
- ・ パソコン本体やインターフェースボード（カード）、USBハブの仕様によってはUSBの電源供給性能の問題からバスパワーで動作しない場合がございます。その場合は別売りの弊社製 AC アダプタ「LA-8W5S-02」をご使用ください。AC アダプタを使用する際の注意点は次ページをご参照ください。
- ・ USB ケーブルは必ず付属の物をご使用ください。それ以外の USB ケーブルでは動作の保証はいたしかねます。
- ・ 本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 ポートへ接続してください。USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed（12Mbps）となります。
- ・ スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードについては未サポートとなっております。



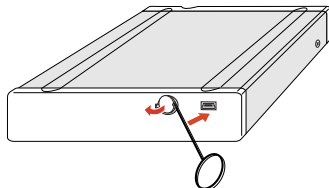
## ACアダプタを使用する際の注意点

ACアダプタを使用する場合は、必ずUSBケーブルを接続する前に、MOユニットにACアダプタを接続し電源を供給してから、USBケーブルでMOユニットとパソコンの接続を行ってください。

はじめに付属のイジェクトツールを使い、目隠し板を下図のように取り除きます。

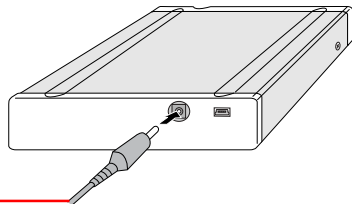


矢印部分に差し込みます。



目隠し板を折り取ります。

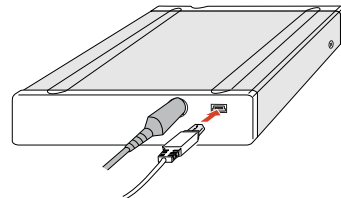
次にACアダプタを接続します。



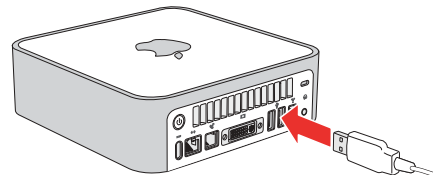
AC100Vのコンセントへ

付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続します。

MOユニット側  
小さいコネクタ



パソコン本体側  
大きいコネクタ



LMO-PBAU2シリーズ用のACアダプタは以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LA-8W5S -02

ご注意

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中のACアダプタの抜き差しはぜったいに行わないで下さい。不要なりセットや動作異常を招き、データが消失する危険性があります。

## 使用環境について（共通）

製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。

### 対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/Vパソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini
	eMac
	iBook、iBook G4
	iMac、iMac G5
	Power Mac G5
	Power Mac G4、Power Mac G4 Cube
	Power Macintosh G3 (Blue and White)
	PowerBook G4、PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 ( BronzeKeyboard )

パソコン側のUSBインターフェースがUSBのバスパワーに対応している必要があります。

### 対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional  
Windows Me  
Windows 98 (Second Edition 含む)  
Windows 2000 Professional

#### アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降 ( )  
Mac OS 9 ~ 9.2.2 まで ( )

USB2.0接続にてご使用の場合は、Mac OS X 10.2 以降となります。

# 使用可能なメディアについて

ご使用のシリーズで利用できるメディアについては、下表をご参照ください。

機種名		LMO- PBA 1345U2S	LMO - PBA640U2S	LMO- PBS 1345U2	LMO - PBS645U2
128MB	標準				
	OW				
230MB	標準				
	OW				
540MB	標準				
	OW				
640MB	標準				
	OW				
1.3GB	標準		×		×
	OW				
2.3GB	標準	×	×	×	×
	OW				

- = 使用可能
- × = 使用不可
- = 使用可能ですが、書き込み速度は、通常のMOメディアと同等になります。
- = このタイプは現在発売されていません。

## ご注意

- ・ Windows Me、98 ( Second Edition 含む ) の環境において、1.3GB、640MBのMOメディアと、540MB、230MB、128MBのMOメディアを混在して使用する場合には、付属CD-ROMのスィスイスタートガイドより「MO補助ドライバ」をインストールしてください。
- ・ 他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないでください。( この用途は保証範囲外とさせていただきます。 )  
これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB以上のMOメディアをご使用ください。

## 設置方向について

ここではMOユニットの設置方向についてご説明いたします。  
ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

LMO-PBSU2シリーズをご使用の場合

LMO-PBAU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBSU2 シリーズの設置方向

LMO-PBSU2 シリーズは縦置き・横置きどちらでも使用可能です。

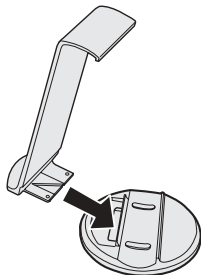
### 縦置きで使用する場合

縦置きで使用する場合、付属のスタンドを組み立てて以下のように設置してください。

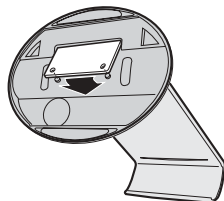
#### 参考

スタンドの底面にイジェクトツールを装着することができます。

スタンド台座部分の開口部に支柱をはめ込みます。

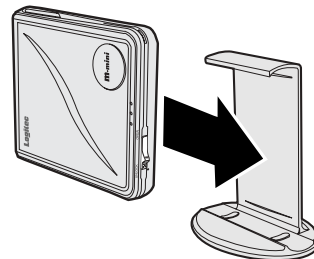


台座裏側の突起部に支柱がしっかりとハマるように固定してください。



トップカバーが手前にくるようにして本製品をスタンドにセットします。

トップカバーが手前にくればセット方向は逆でもかまいません。

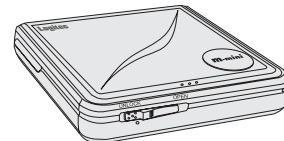


正しくセットされると右のような状態になります。



### 横置きで使用する場合

横置きで使用する場合は、右図のようにトップカバーを上にして設置してください。

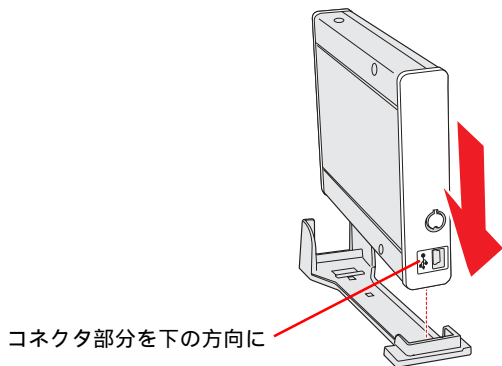


## LMO-PBAU2 シリーズの設置方向

LMO-PBAU2 シリーズは縦置き・横置きどちらでも使用可能です。設置の際は、それぞれ以下の図を参考にしてください。

### 縦置きで使用する場合

縦置きで使用する場合、付属のスタンドに、以下のような方向で設置して使用してください。コネクタ部分の方向を逆にすると、転倒の原因となりますのでご注意ください。

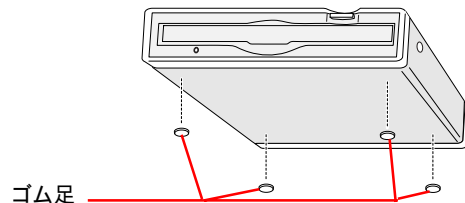


#### 参考

スタンドの底面にイジェクトツールを装着する事ができます。

### 横置きで使用する場合

横置きで使用する場合、底面の4箇所にゴム足を貼り付けてください。



### 正しい設置方向



## メディアのセットと取り出し

ここではMOメディアのセットと取り出し方法とその際の注意事項についてご説明します。  
ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

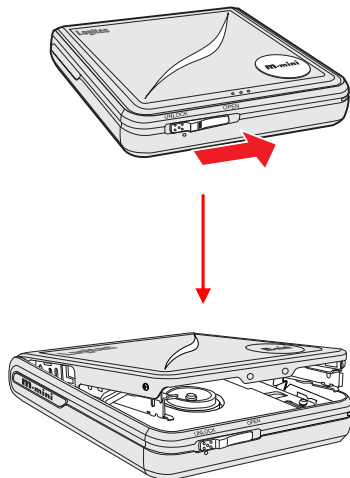
LMO-PBSU2シリーズをご使用の場合

LMO-PBAU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBSU2 シリーズの場合

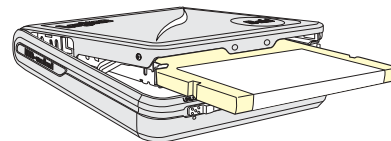
### メディアのセット方法

イジェクトレバーを OPEN 側（右側）にスライドして  
トップカバーを開けてください。



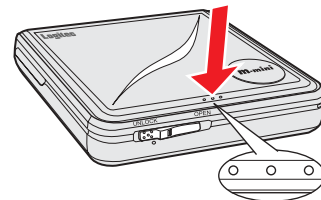
イジェクトレバーが動作しない場合、パソコンに接続し、本  
製品に電源を供給してからご使用ください。

メディア挿入口から、MO メディアを挿入し、奥まで押し込んでく  
ださい。奥のストッパーにあたりると MO メディアが固定されます。



固定された状態から、無理に MO メディアを取り出さないでくだ  
さい。故障の原因となります。取り出しは、一度トップカバーを  
閉じてから、次の「メディアの取り出し方法」の手順を参照して  
行ってください。

トップカバーのマーク部( )を押して、トップカバーを閉めます。



指などをはさみこまないよう、十分ご注意ください。



## メディアの取り出し方法

ここでは、以下の3つの取り出し方法についてご説明いたします。

- ・ 通常を取り出し方法( OS 起動時にセットしたメディアを取り出す方法です )。
- ・ イジェクトレバーによる取り外し方法( ドライブ側で認識できないタイプのメディアをセットした場合の取り出し方法です )。
- ・ イジェクトツールを使用した取り外し方法( 何らかの理由で、ドライブからメディアが取り出せなくなったときに強制的に取り出す方法です )。

メディアの取り出しを行う場合は、以下に記す注意事項をお守りの上、正しい手順で取り出してください。

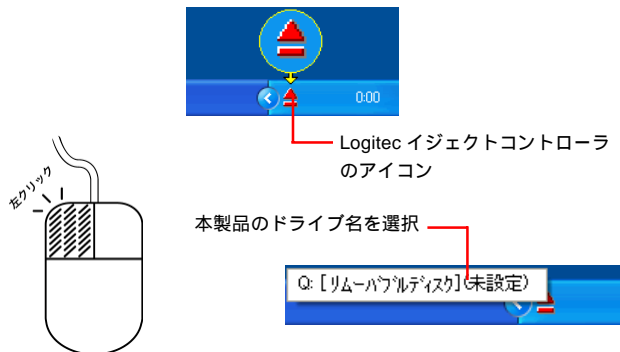
### 注意事項

- ・ OS側で取り出し操作を行わずに本製品をパソコンから取り外すと、トップカバーがロックされた状態になり、カバーが開かなくなります。その場合、無理にカバーを開こうとしないでください。パソコンに再接続して取り出し操作を行えば、OS側のロックは解除されます。
- ・ アクセスランプ点滅中は取出ししないでください。
- ・ メディア内のファイルが開いている場合は、必ずそのファイルを閉じてから取り出しを行ってください。
- ・ アクセスランプがゆっくりと点滅しているときは、イジェクトレバーをOPEN側(右側)にスライドするだけで、トップカバーが開きます。
- ・ ドライブ側で認識できないタイプのMOメディア(たとえば2.3GBのMOメディアなど)をセットした場合、OS側での取り出し操作はできません。イジェクトレバーによる取り出しを行ってください。
- ・ Windows XP/2000環境でご使用の場合は、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてください(付属のソフトウェア「Logitech ユーザー権限変更ツール」をインストールしている場合は、管理者権限以外でもイジェクトが可能となります)。

## 通常の取り出し方法

OS 起動中に本製品から MO ドライブを取り外す場合、はじめに OS 側で行う操作が、環境により異なります。このページでご使用の環境に該当する項目をご参照の上、次ページ以降をご参照ください。

Windows 環境では、MO メディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitec イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。「Logitec イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



### 参考：

「Logitec イジェクトコントローラ」を使用しない場合、マイコンコンピュータ内の本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を選択してもメディアの取り出しが可能です。

Mac OS X環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップ下のDockにある「取り出し」のアイコンに重ねます。

Mac OS X の場合



### 参考：

「取り出し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。デスクトップ上で取り出し可能なメディアや、取り外し可能な記憶装置を選択すると、「取り出し」のアイコンに変化します。



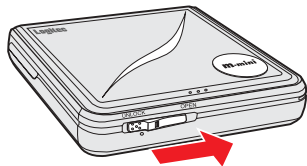
Mac OS 9環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップにあるゴミ箱のアイコンに重ねます。

Mac OS 9.2.2 の場合



アクセスランプが、点灯からゆっくりとした点滅になると、MOメディアが取り出し可能となります。

イジェクトレバーをOPEN側(右側)にスライドして、トップカバーを開くと、MOメディアが排出されます。



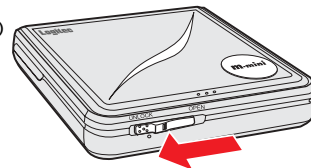
アクセスランプが数秒点滅します。(点滅中は、まだ使用できません)ランプが点滅から点灯状態に変わったら、使用可能となります。

## イジェクトレバーによる取り出し方法

ドライブ側で認識できないタイプのMOメディア(たとえば2.3GBのMOメディアなど)をセットした場合は、以下の方法で取出しを行ってください。

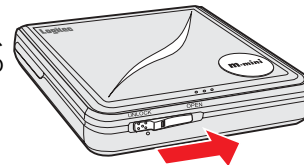
ライトキャッシュ機能により、パソコン側では書き込みが終了しているように見えても、ドライブ側ではMOメディアへ書き込みを行っている場合があります。大切なデータの破損を防止するため、ドライブ側で認識されているMOメディアの取り出しは、この方法では行わないでください。

イジェクトレバーをUNLOCK側(左側)にスライドしてください。



アクセスランプが、点灯からゆっくりとした点滅に変わります。

イジェクトレバーをOPEN側(右側)にスライドして、トップカバーを開くと、MOメディアが排出されます。



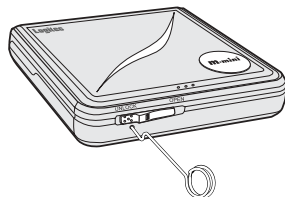
## イジェクトツールを使用した取り外し方法

何らかの理由でMOメディアの取り出しができなくなったときは、次の手順でMOメディアの取り出しを行ってください。

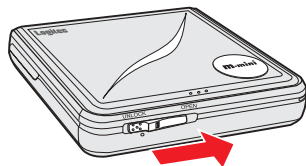
正しい手順で、本製品の取り外し操作（アンプラグ）を行った後、本製品からUSBケーブルを抜いてください。

取り外し操作については、「MOユニットの取り外し方法」をご参照ください。

リリースホールにイジェクトピンを差し込み、軽く突き当たるまで押してください。（トップカバーのロックが外れます）



イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドして、トップカバーを開くと、MOメディアが排出されます。



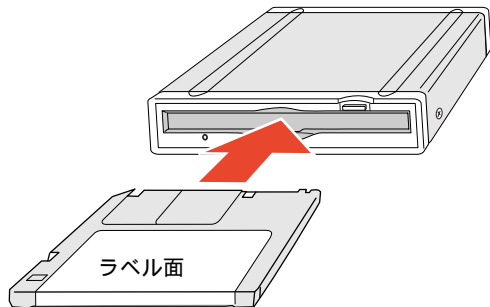
## ご注意

- ・ イジェクトピンによる取出しを行った後に、トップカバーが閉じられなくなった場合は、イジェクトピンをリリースホールに差し込み、軽く突き当たるまで押してください。
- ・ この手順でトップカバーのロックが外れない場合は、イジェクトピンでリリースホールを押したまま、イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドしてください。

## LMO-PBAU2 シリーズの場合

### メディアのセット方法

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



#### ご注意

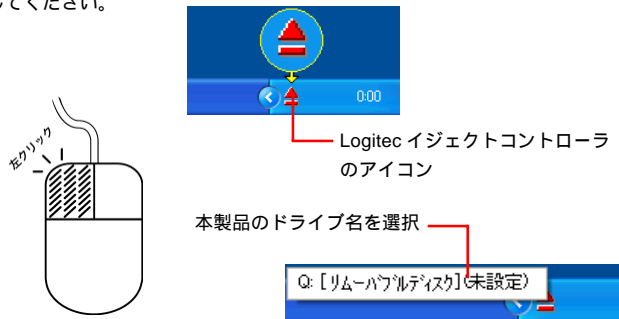
本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。  
フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

### メディアの取り出し方法

#### Windows 環境の場合

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitech イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitech イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

#### 参考：

「Logitech イジェクトコントローラ」を使用しない場合、マイコンビュータ内の本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を選択してもメディアの取り出しが可能です。

次ページの注意事項もご参照ください

## 注意事項

- ・ 本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼働中は使用しないでください。
- ・ アクセスランプ点滅中は取出ししないでください。
- ・ メディア内のファイルが開いている場合は、必ずそのファイルを閉じてから取り出しを行ってください。
- ・ Windows XP/2000環境でご使用の場合は、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてください（付属のソフトウェア「Logitechユーザー権限変更ツール」をインストールしている場合は、管理者権限以外でもイジェクトが可能となります）。

## Macintosh 環境の場合

Mac OS X環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップ下のDockにある「取り出し」のアイコンに重ねます。

Mac OS X の場合



参考：

「取り出し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。デスクトップ上で取り出し可能なメディアや、取り外し可能な記憶装置を選択すると、「取り出し」のアイコンに変化します。



Mac OS 9環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップにあるゴミ箱のアイコンに重ねます。

Mac OS 9.2.2 の場合



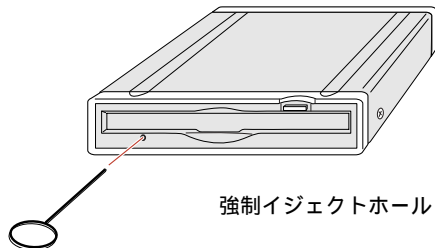
## イジェクトツールを使用した取り外し方法

何らかの理由でMOメディアの取り出しができなくなったときは、次の手順でMOメディアの取り出しを行ってください。

正しい手順で、本製品の取り外し操作（アンプラグ）を行った後、本製品からUSBケーブルを抜いてください。

取り外し操作については、「MOユニットの取り外し方法」をご参照ください。

強制イジェクトホールにイジェクトピンを差し込み、突き当たるまで強く押してください。メディアが数センチ排出されるので、静かに引き抜きます。



### ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

## フォーマット（初期化）について

ここではMOメディアのフォーマット方法について、ご使用のOS ごとにご説明いたします。  
参照したいOS のボタンをクリックしてください。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

### 注意！

フォーマットを行うと、それまでにMOメディア内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。



## Windows 環境でフォーマットを行う場合

MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」をご使用ください。「Logitec ディスクフォーマッタ」は付属の「Software Pack」CD-ROMからインストールしてください。

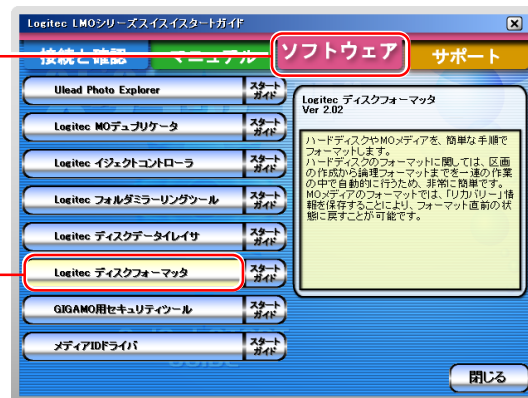
「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストールは、「Software Pack」CD-ROMをパソコンにセットして自動起動する「スィスイスタートガイド」の画面より、

「ソフトウェア」タブを選択し、

ソフトウェアの一覧から、「Logitec ディスクフォーマッタ」のボタンをクリックしてください。

1. ソフトウェアタブをクリック

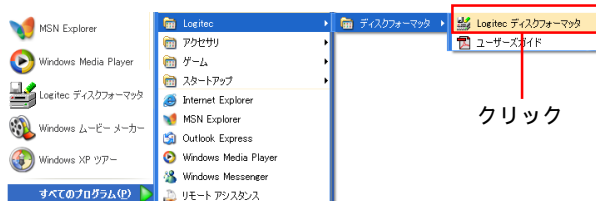
2. 「Logitec ディスクフォーマッタ」  
ボタンをクリック



自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

## 「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」「Logitec」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ではインストールした場合)



詳しい使用方法については「Logitec ディスクフォーマッタ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

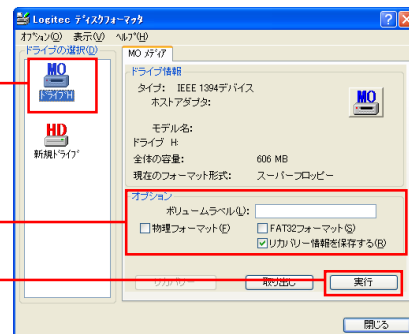
## フォーマット方法について

以下の画面が表示されたら、MOドライブのアイコンをクリックし、MOドライブにメディアをセットして、オプションを選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

1. 選択してメディアをセット

2. オプションを設定

3. 「実行」をクリック



「オプション」では物理フォーマットを行うかFAT32 フォーマット (640MB以上のメディアのみ) を行うかを選択できます。

「リカバリー情報を保存する」にチェックを入れた場合は、誤ってフォーマットを行った場合に、データのリカバリーを行うことができます。ただし、フォーマット後にメディアに書き込みを行った場合はリカバリーできません。また、物理フォーマットを選択した場合は、この項目自体選択することができません。

## Macintosh環境でフォーマットを行う場合

Macintosh 環境では、フォーマットは OS 標準の機能を使用します。  
下欄のポイントをご確認の後、ご使用の環境に該当する項目をクリックしてご参照ください。

Mac OS Xでのフォーマット方法

Mac OS 9でのフォーマット方法

### ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

#### Mac OS 標準

従来の Macintosh シリーズでサポートされていた形式です。汎用性にはありますが、1.3GB などの大容量の MO メディアで選択すると、保管効率が悪くなります。Windows 環境では使用できません。

#### Mac OS 拡張

Mac OS 8.1 からサポートされた形式です。大容量の MO メディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0 以前のシステムではアクセスできなくなります。

Mac OS X とのデータ交換を行う場合はこちらでフォーマットしてください。Windows 環境では使用できません。

**DOS 形式**を選択して初期化したい場合は Windows 環境にてフォーマットしてください。

フォーマット形式で、**DOS 形式**フォーマットのみ選択可能な場合も、Windows 環境にてフォーマットを行ってください。

Windows 環境でフォーマットした MO メディアを Mac OS 9 環境でマウントさせる場合は、540MB 以下の MO メディアをご使用ください。

## Mac OS Xでのフォーマット方法

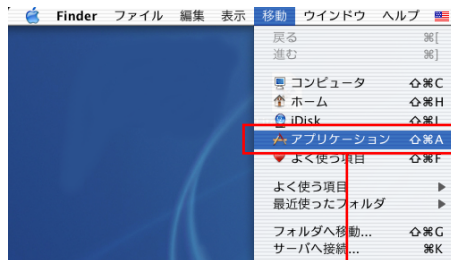
Mac OS Xでのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

### フォーマット手順

ハードディスクのフォーマットにはMac OS X標準のフォーマットソフトウェア「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を使用します。

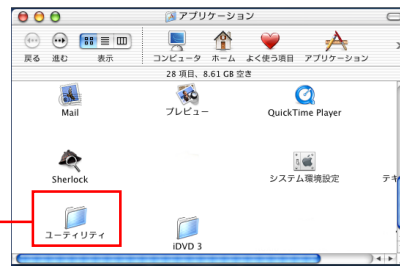
本製品をはじめて接続した際に、「今セットしたディスクはMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示された場合は、ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックして、手順へお進みください。

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。



選択

「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。



ダブルクリック

Mac OS Xの標準フォーマット「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

1. 本製品のドライブ名を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。(本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります)
5. 「消去」ボタンをクリック

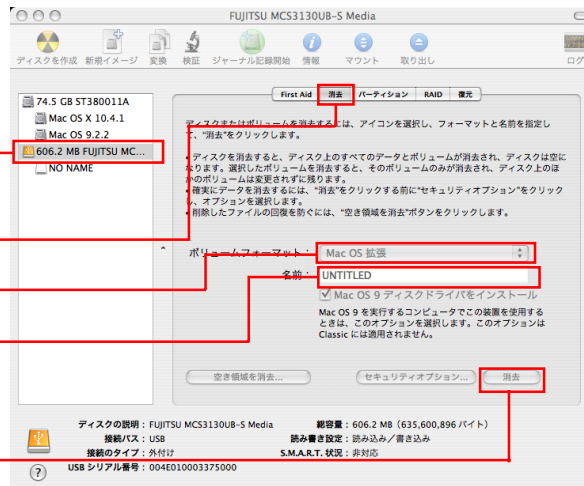
1. ドライブを選択

2. 「消去」タブをクリック

3. 「Mac OS 拡張」を選択

4. 名前を入力

5. 「消去」ボタンをクリック



確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

! 次ページの注意事項を必ずご参照ください。

#### ご注意

- ・すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- ・ Mac OS 9 環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。ただし、このチェックボックスは Mac OS X のみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。
- ・ Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application\_」、「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

## Mac OS 9でのフォーマット方法

Mac OS 9 ~ 9.2.2 環境の場合、以下の方法でフォーマットを行います。

### フォーマット手順

コンピュータの電源が ON の状態で本製品と Macintosh マシンを接続して、本製品に MO メディアをセットします。

デスクトップに右のような MO メディアのアイコンがマウントされます。

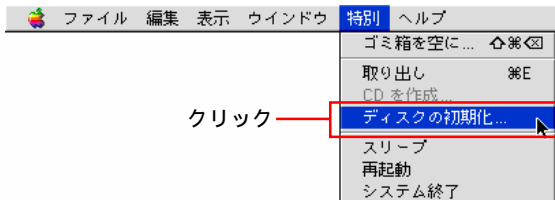


未フォーマットメディアやOS側で認識できないフォーマットのメディアをセットした場合は、このアイコンは表示されず、手順の画面となります。その場合はそのまま手順へお進みください。

MOメディアのアイコンをクリックして選択状態にしてください。

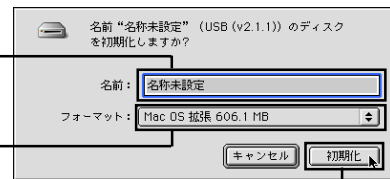
Finder メニューの「特別」をクリックし、「ディスクの初期化」をクリックしてください。

「装置の初期化」と表示される場合もあります。



以下のダイアログボックスが表示されるので、「名前」の欄にMOメディアの名称を入力し、「フォーマット」の欄でフォーマット形式を選択して、「初期化」ボタンをクリックしてください。

1. 名前を入力
2. フォーマット形式を選択
3. 初期化をクリック



- AppleTalkが「使用」に設定され、ファイル共有が開始されている場合は、フォーマット（初期化）を行うことができません。いったんAppleTalkを「不使用」に設定するか、ファイル共有を中止してからフォーマットを行ってください。AppleTalkはAppleメニューから「セレクトラ」を選択し、セレクトラウィンドウで「使用」と「不使用」を設定できます。ファイル共有は、Appleメニューから「コントロールパネル」- ファイル共有と選択し、ファイル共有ウィンドウで設定ができます。

# MO ユニットの取り外し方法

お買い上げいただいたMOユニットは、インターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

Macintosh環境の場合は上記の注意事項を確認したら、いつでもMOユニットの取り外しが可能です。取り外しの際は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

Windows環境の場合は、上記の注意事項確認後、一定の手順で、アンプラグ操作（パソコンとMOユニット間のUSB接続の解除）が必要となります。

アンプラグ手順については、右側をご参照ください。

## アンプラグ手順

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。

ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。次ページをご参照ください。

例：Windows Me の場合

2. この項目をクリック



1. このアイコンをクリック

デバイスを安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。



参考：Windows 環境でアンプラグ操作時に表示されるメッセージ

Windows 環境でアンプラグ操作を行う際、OS により以下のようなメッセージが表示されます。

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB ディスク - ドライブ(d:)の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を停止します」

Windows 98 ( Second Edition 含む )

LMO-PBSU2 シリーズの場合

「FUJITSU MDxxxxxUB を止める：ドライブ (d:)」

LMO-PBAU2 シリーズの場合

「FUJITSU MCxxxxxUB を止める：ドライブ (d:)」



ここではMOユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

MO ユニットをパソコンに接続したのですが認識されません。

MO ユニットにセットした MO メディアへアクセスしようとするとエラーが発生します。

特定の MO メディアにアクセスできません。

MO メディアに書き込みができません。

データの転送速度が遅いようなのですが？

LMO-PBSU2 シリーズを使用しているのですが、MO ユニットから MO メディアを取り出すことができません。

LMO-PBAU2 シリーズを使用しているのですが、MO ユニットから MO メディアを取り出すことができません。

LMO-PBSU2 シリーズを使用しているのですが、イジェクトレバーを「OPEN」にしてもカバーが開きません。

セットした MO メディアが認識されません。

パソコンがスリープ（休止・省電力モード）状態から復帰できなくなりました。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で、MO メディアを使用できません。

**Q** >>>

question

MO ユニットをパソコンに接続したのですが認識されません。

**A** >>>

answer

ケーブルは正しく接続されていますか？

パソコン側、本製品側共に正しく差し込まれているかを確認してください。

本製品をハブ経由で接続していませんか？

バスパワーの USB ハブを経由した場合、本製品は動作しません。セルフパワーのハブをご使用になるか、パソコンに直接接続してご使用ください。

ご使用のパソコンの USB ポートからは USB バスパワーによる電源供給が行われていますか？

パソコンの USB ポートから規定の電源供給が行われない場合バスパワー駆動の MO ユニットは動作しません。また、ノートパソコンの場合バッテリー駆動時に USB ポートからの電源供給を行わない機種もあります。

その他に、パソコン本体やインターフェースボード（カード）などの仕様によっては電源供給性能の問題からバスパワーで十分に動作しない場合があります。

そのような場合は、以下のことをお試しください。

- ・ LMO-PBSU2 シリーズをご使用の場合は、セルフパワーの USB ハブを使用してください。
- ・ LMO-PBAU2 シリーズのをご使用の場合、別売の AC アダプタ「LA-8W5S-02」をご使用ください。

USB 延長ケーブルを使用していませんか？

USB 延長ケーブルを使用すると、不要な電圧降下を招き正しく動作しない場合があります。

Q >>>>

question

MO ユニットにセットした MO メディアへアクセスしようとするとエラーが発生します。

A >>>>

answer

MO 補助ドライバはインストールしていますか？

特に Windows Me、98 ( Second Edition 含む ) の環境において、1.3GB/640MB の MO メディアと 540MB/230MB/128MB の MO メディアを混在して使用した場合、パソコンが不安定になる場合があります。そのような場合は、動作を安定させるために、付属の CD-ROM より「MO 補助ドライバ」をインストールしてください。

MO メディアは汚れていませんか？

MO メディアは汚れなどにより、データの読み書きに通常よりも時間のかかる場合があります。ご使用の MO ユニット用のメディアクリーニングキット ( 別売 ) を使用して、メディアのクリーニングを行ってください。  
また、この場合も「MO 補助ドライバ」をインストールすると、症状が改善する場合がございます。

別の MO メディアへアクセスすることはできますか？

アクセスしようとしている MO メディアの不良も考えられます。別の MO メディアでお試しになり、問題がない場合は、エラーの発生する MO メディアを再フォーマットしてご使用になることをお勧めします。再フォーマットの際は、データがすべて消去されますので、該当の MO ドライブ内のデータをバックアップしておくことをお勧めします。



question

特定の MO メディアにアクセスできません。



answer

その MO メディアはフォーマットされていますか？

一般に MO メディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。

- ・ Windows 環境の場合は、MO ユニットにの付属 CD-ROM より「Logitech ディスクフォーマッタ」をインストールしてフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。（「Logitech ディスクフォーマッタ」を使用した詳しいフォーマット方法については「Logitech ディスクフォーマッタ」に付属のユーザーズガイド（PDF）をご参照ください。）
- ・ Macintosh 環境の場合は、OS に標準のフォーマット機能を使用して MO メディアのフォーマットを行ってください。詳しいフォーマット方法については「フォーマットについて」の「Macintosh 環境でフォーマットを行う場合」をご参照ください。

その MO メディアは、ご使用の OS に合ったフォーマット形式でフォーマットされていますか？

MO メディアでは FAT フォーマットの形式が一般的ですが、未フォーマットのメディアやアップルコンピュータ社の Macintosh シリーズ用にフォーマットされたメディアもあります。Windows 環境と Macintosh 環境等、異なるシステムでデータ交換を行う場合には、FAT フォーマットの MO メディアをご使用ください。

Mac OS 9 シリーズで FAT フォーマットび MO メディアを使用するためには、Mac OS 標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。Mac OS X の場合は、OS にあらかじめ組み込まれていますので、特に意識する必要はありません）

Macintosh シリーズ用にフォーマット（Mac OS 標準または Mac OS 拡張）されたメディアは Windows 環境では読み込むことができません。

MO メディアの容量を確認してください。

MO ユニットは、対応する容量以上のメディアを認識することはできません。「使用可能なメディアについて」を参照し、その MO メディアがご使用の MO ユニットで使用可能なものかどうかを確認してください。

Q >>>

question

MO メディアに書き込みができません。

A >>>

answer

MO メディアのライトプロテクトノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

Q >>>

question

データの転送速度が遅いようなのですが？

A >>>

answer

接続しているパソコンの USB ポートは USB 2.0 に対応していますか？

USB 1.1 ポートに接続している場合、データの転送速度は Full-Speed ( 12Mbps : 理論値 ) までとなります。High-Speed ( 480Mbps : 理論値 ) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎ変えてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合、別売の USB 2.0 インターフェースボードまたは USB 2.0 インターフェースカードを使用して接続してみてください。

Macintosh マシンをご使用の場合、Mac OS 9 および、Mac OS X 10.2 よりも前の環境では、OS が USB 2.0 の High-Speed に対応していません。

LMO-PBSU2 シリーズの場合、付属 CD-ROM より、キャッシュオンツールをインストールすることにより MO ユニットの書き込み性能を向上させることが可能です。



question

LMO-PBSU2シリーズを使用しているのですが、MOユニットからMOメディアを取り出すことができません。



answer

MOユニットを接続しているパソコンの電源はONになっていますか？

LMO-PBSU2シリーズは、パソコンよりバスパワーで電源が供給されている状態でなければ、通常の取り出し操作は行えません。

MOメディア内のデータへアクセスが行われていませんか？

メディアへのアクセス中は取り出しを行うことができません。アクセス終了後に取り出しを行ってください。

特定のソフトウェアが起動しているときにこの現象が起きますか？

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止する物があります。現在使用中のソフトウェアを終了してお試しください。

上記項目に当てはまらない場合、以下のことをお試しください。

MOユニットを取り外した後に再接続して、再度取り出し操作を行ってみる。

パソコンからMOユニットを取り外し、付属のイジェクトツールをリリースホールに押し込み、強く押してみる（強制イジェクト）  
ただし、MOユニットの電源がONの状態では、イジェクトツールは使用しないでください。

Q >>>

question

LMO-PBAU2シリーズを使用しているのですが、MOユニットからMOメディアを取り出すことができません。

A >>>

answer

MOユニットを接続しているパソコンの電源はONになっていますか？

LMO-PBSU2シリーズは、パソコンよりバスパワーで電源が供給されている状態でなければ、通常の取り出し操作は行えません。

MOメディア内のデータへアクセスが行われていませんか？

メディアへのアクセス中は取り出しを行うことができません。アクセス表示ランプが点灯していないことを確認し、アクセス終了後に取り出しを行ってください。

特定のソフトウェアが起動しているときにこの現象が起きますか？

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止する物があります。現在使用中のソフトウェアを終了してお試しください。

上記項目に当てはまらない場合、以下のことをお試しください。

MOユニットを取り外した後に再接続して、再度取り出し操作を行ってみる。

パソコンからMOユニットを取り外し、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに押し込み、強く押してみる（強制イジェクト）ただし、MOユニットの電源がONの状態では、イジェクトツールは使用しないでください。



Q >>>

question

LMO-PBSU2シリーズを使用しているのですが、イジェクトレバーを「OPEN」にしてもカバーが開きません。

A >>>

answer

LMO-PBSU2シリーズはMOメディアをセットしたままの状態、パソコン側のシステムを終了したり、取り外した場合、トップカバーがロックされたままの状態になります。

MOメディアのセット・取り出しはパソコンの電源がONの状態で行ってください。

Q >>>

question

セットしたMOメディアが認識されません。

A >>>

answer

MOユニットを接続したままコンピュータを起動または再起動しませんでしたか？そのような場合は以下のことをお試しください。

いったんMOユニットをパソコンから取り外し、しばらくしてから再度接続してみてください。

いったんMOユニットからMOメディアを取り出してから、コンピュータの起動または再起動を行ってください。

Q >>>

question

パソコンがスリープ（休止・省電力モード）状態から復帰できなくなりました。

A >>>

answer

ご使用のMOユニットは、スリープモード・サスペンドモードなどの省電力モードはサポートしていません。スリープ（サスペンド機能）をOFFにしてご使用ください。

Q >>>

question

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で、MOメディアを使用できません。

A >>>

answer

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみとなっている場合があります。ご使用のソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

## 保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。  
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

### サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。  
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に下記弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、次ページの「サポート/修理受付窓口のご案内」をご参照ください

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

## ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）

### テクニカルサポート連絡先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8 ロジテック株式会社 テクニカルサポート

### 弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

### 修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268 ロジテック株式会社 伊那サービスセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423

祝祭日を除く 月～金曜日

FAX：0265-74-1403

9:00～12:00、13:00～17:00

修理納期以外のお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。